

本市のSDGs普及啓発について

【これまでの取組】

本市では、これまでSDGsに関して「Ⅰ．知る」、「Ⅱ．理解する」、「Ⅲ．実践する」の三段階において以下のような普及啓発を行ってきた。

Ⅰ．SDGsを知る

市民及び企業等の団体へSDGsの周知を図る。

(1) ロゴマークの作成



(2) 特設サイトやSNSによる情報発信



(3) SDGsを知るためのツール作成



普及啓発チラシ

小中学生向けアクションガイドブック

(4) SDGsに取り組む各種団体等の特集記事



(5) 動画制作や番組放送



(6) ブース出展



II. SDGsを理解する

SDGsの趣旨を理解してもらうため、SDGsウィークその他関連イベントを実施する。

(1) SDGsウィークにおけるステークホルダーとの連携



SDGs トークカフェ



SDGs ツアー



小学校の授業

(2) SDGs フォーラムの開催

【富山市SDGsウィーク】富山市SDGs推進フォーラム

期日／令和4年1月29日（土）

開場 13:00～13:30

開演 13:30～16:30（所要：180分間）

会場／富山国際会議場3階メインホール

主催／富山市

参加者／来場者200人、オンライン参加70人

客席設定／181席（参加無料）、別途オンライン配信を実施（事前申込）

運営／北日本新聞社、富山テレビ放送、電通西日本富山支社、

オレンジ・ヴォイス・ファクトリー

司会進行／深津麻弓さん（BBTアナウンサー）

プログラム／



1.29
土

2004年、東京都生まれ、数多くのドラマや映画、CM、バラエティ番組に数回出演。2017年には「SDGs未来会議」のスペシャルサポーターに就任し、「SDGsにどうサミット」に出演するなど積極的に活動している。現在高校2年生。

13:30～16:30（開場13:00）

富山市SDGs推進フォーラム

富山国際会議場 メインホール（富山市大学町）

ゲストトーク
「僕が考える、未来へのSDGsアクション」
鈴木 福さん（俳優）

パネルディスカッション
「ともに手を取り合って創る未来～幸せのカタチを富山から～」

パネリスト
鈴木 福さん（俳優）
土肥 恵里奈氏（関ジャニ∞元メンバー）
バークマンサール氏（アーティスト、富山県立芸術文化センター）
藤井 裕久（富山市長）

コーディネーター
九里 徳泰氏（母体女子大学大学院MBA社会起業研究科教授、富山市政策委員）

OSDGs推進コミュニケーターによる活動発表

参加者募集
定員400名
※要申込／無料

オンライン配信
※要申込／無料

Ⅲ. SDGsを実践する

SDGs を実践する人材育成の支援等を行う。

- (1) 「富山市 SDGs サポーター登録制度」におけるメールマガジン等による情報発信
- (2) SDGs の実践者を養成するため、①「富山市 SDGs 推進コミュニケーター養成講座」の開催及び推進コミュニケーター同士の連携と自走型コミュニティ形成を目的とした②富山市 SDGs 推進コミュニケーターによる「STEP UP ミーティング」の開催



(3) 学生リーダーズミーティングの開催



(4) SDGs 推進認定事業補助金

SDGs の推進が見込める事業を SDGs 推進事業として認定し、補助金による支援を行う。

(支援例)

① アール・タチバナ株式会社：資源の再利用による花プロジェクト

廃棄物を再利用した資材や材料を使用し、富山県産のチューリップの球根を育てることにより、地産地消や花育、資源の再利用の大切さや SDGs について興味・関心を持ってもらう。



② 光陽小学校

みんなでチャレンジ「SDGs パスポート」・食品ロスゼロプロジェクト

SDGs を実践する活動に取り組み、本校児童や家庭、地域の「持続可能な社会」の実現に向けた関心を高める。食品ロスを減らせるように、児童一人一人が、自分ができる取組を考え、家庭や地域とともに実践していく。



エコキャップ・アルミ缶回収



食品ロスゼロ作戦

【取組の結果】

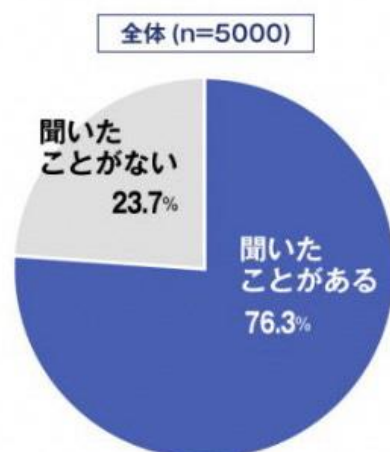
(1) 認知度の向上

朝日新聞社が2021年12月に実施した第8回SDGs認知度調査では、「SDGsという言葉聞いたことがある」と答えた人は76.3%に達しており、SDGsに「非常に関心がある」「少しは関心がある」と答えた人は、60.2%と高い数字となっている。

また、富山県におけるSDGsの認知度は、89.2%で全国一となっている。これは、2018年に本市がSDGs未来都市に選定されて以降、SDGsサポーター登録制度を開始し、積極的に普及啓発に取り組んできた結果、一定の成果が表れているものと考えられる。

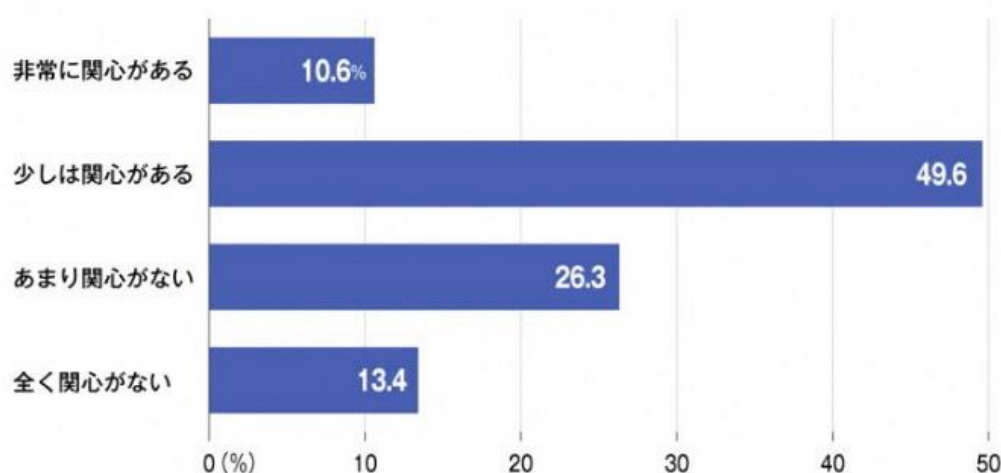
また、SDGsを「自分ごと」として捉え、実践する「コミュニケーター」は、100名を超えており、SDGsをコミュニティ醸成や地域活性化のツールに活用する自治会・団体、SDGsをビジネスチャンスと捉える企業が増えているなど、地域に根差したSDGsが徐々に浸透しつつある状況といえる。

あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか



あなたはSDGsにどの程度関心がありますか

※n=3816 ※「SDGs」という言葉を聞いたことがあると答えた人が回答



朝日新聞社「第8回SDGs認知度調査」より

(2) SDGs サポーター及び SDGs 推進コミュニケーターの増加

SDGsを自分ごととして捉え、実践を行うための
「**富山市SDGsサポーター**」の登録を2019年度から開始



SDGs関連イベントなどの情報提供や、
各自の具体的な取組を集約し、SDGs
優良事例として新聞やホームページで紹介

*2022年8月1日現在
1,013名、285団体・企業が登録

地域・職場等でSDGsを広め、自ら実践する
「**富山市SDGs推進コミュニケーター**」養成講座を2020年度から開始



コロナ対策として、
オンラインでの受講を併用

*2022年3月末現在
109名を認定

【今後の課題】

これまでの取組により、SDGsの認知度は高まったものの、「具体的にどのような行動を起こせばいいのかわからない」、「SDGsに取り組む市民・企業・団体との繋がりを深めたい」といった声が出前講座や各種イベントにおいて多く寄せられている。

また、サポーター登録者数は1,000名を超えたものの、SDGsに関する情報が市からの一方通行になってしまい、サポーターがSDGsのどの分野に関心があるのか把握が困難であることも課題となっている。

このことから、今年度は、「SDGsを知る」、「SDGsを理解する」、「SDGsを実践する」のフェーズごとに、よりきめ細かい啓発や支援を行うとともに、スタートアップツールの活用や、他のSDGsの実践例の紹介、推進コミュニケーター同士の交流によるSDGsプロジェクトの創設など、SDGsを具体的なアクションに繋げるための普及展開に力点を置く。

【今年度の展開方針】

I. SDGsを知る

市民及び企業等の団体へ SDGs の周知を図る。

- (1) 市内の SDGs 関連のイベントや取組などの情報を収集し、SNS (Facebook、Twitter 等) による情報発信のため、月 1 回以上情報提供を行う。
- (2) 市民及び企業が SDGs を身近に感じ、行動変容につなげるため、市内の優良活動の事例をまとめたスタートアップツール (冊子) を作成し、実践に活用してもらう。
- (3) 市内の小・中学生、高校生が SDGs を理解し、自ら考える機会の創出に向けて、講演、ワークショップの開催を PR し、他の小中学校、高校における SDGs 教育の推進を図る。
- (4) 市主催の各種イベントにおいて、SDGs の普及啓発につながるブースを出展する。

II. SDGsを理解する

- (1) SDGs の趣旨を広く理解してもらうため、SDGs ウィークその他関連イベントを実施する。(今年度は、令和 5 年 1 月下旬に実施予定)
- (2) 行政、企業、学校など多様な関係者が交流しながら、SDGs を学び、実践につなげるための「SDGs セミナー」を実施する。

III. SDGsを実践する

SDGs を実践する人材の育成及び具体的な活動に対する支援を行う。

- (1) 「富山市 SDGs サポーター登録制度」の周知、メールマガジン等による情報発信及び運用・管理を行い、登録数の拡大を図る。
- (2) SDGs の実践者を養成するため、「富山市 SDGs 推進コミュニケーター養成講座」を複数回開催する。
- (3) SDGs の推進が見込める学校、企業、団体の事業を SDGs 推進事業として認定し、補助金による支援を行う (富山市 SDGs 推進認定事業補助金)。

I ～ III の取組を市民、市内企業にとどまらず、他市町村にも広く周知・啓発を行い、一層の SDGs の普及展開を行う。